

# ダイワ・インド株ファンド (愛称：パワフル・インド)

## 運用報告書(全体版)

第45期(決算日 2019年9月9日)

第46期(決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2019年6月8日～2019年12月9日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	約15年間(2008年6月13日～2023年6月7日)		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インド株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株マザーファンド	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場(上場予定を含みます。)するインドの企業の株式およびDR(預託証券)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
37期末(2017年9月7日)	9,695	0	3.7	14,728	5.2	95.1	1.1	2,643
38期末(2017年12月7日)	10,184	50	5.6	15,314	4.0	90.7	3.2	2,533
39期末(2018年3月7日)	9,315	0	△ 8.5	14,492	△ 5.4	92.9	3.1	2,555
40期末(2018年6月7日)	9,605	0	3.1	15,051	3.9	90.7	2.9	2,983
41期末(2018年9月7日)	9,372	0	△ 2.4	15,508	3.0	90.5	3.2	2,947
42期末(2018年12月7日)	8,785	0	△ 6.3	14,514	△ 6.4	92.9	3.0	2,861
43期末(2019年3月7日)	9,131	0	3.9	15,338	5.7	92.9	3.0	2,916
44期末(2019年6月7日)	9,560	0	4.7	15,781	2.9	95.1	3.4	2,791
45期末(2019年9月9日)	8,659	0	△ 9.4	14,026	△ 11.1	93.1	3.3	2,596
46期末(2019年12月9日)	9,604	0	10.9	15,334	9.3	92.3	3.5	2,790

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

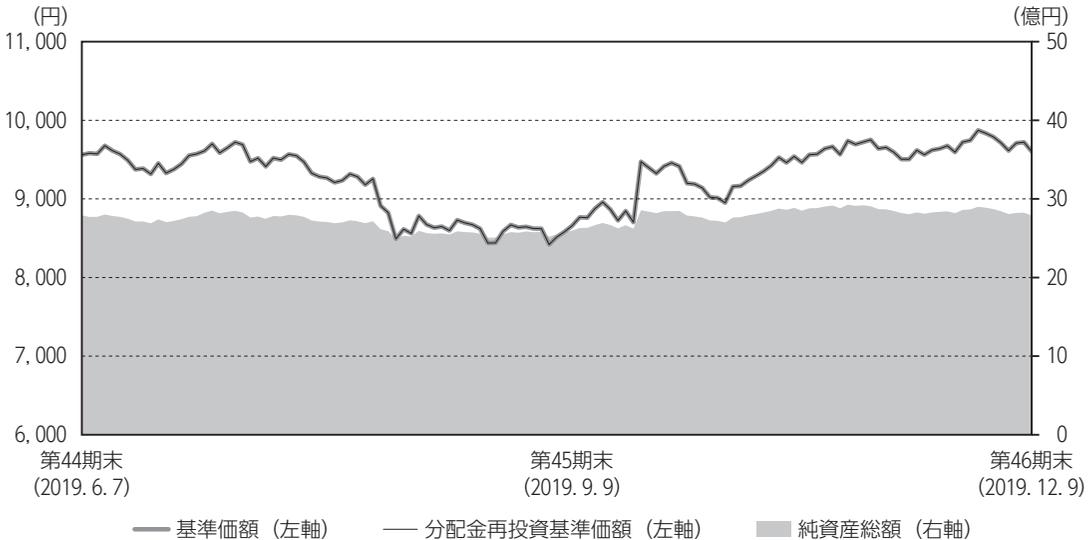
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第45期首：9,560円

第46期末：9,604円（既払分配金0円）

騰落率：0.5%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

インド株式に投資した結果、政府が法人税減税などの景気刺激策を発表したことなどを背景に保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インド株ファンド

	年 月 日	基 準 価 額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
		円	%	(参考指数)	%		
第45期	(期首)2019年6月7日	9,560	—	15,781	—	95.1	3.4
	6月末	9,572	0.1	15,634	△ 0.9	94.2	3.4
	7月末	9,180	△ 4.0	14,858	△ 5.8	92.5	3.3
	8月末	8,645	△ 9.6	14,027	△ 11.1	93.3	3.3
	(期末)2019年9月9日	8,659	△ 9.4	14,026	△ 11.1	93.1	3.3
第46期	(期首)2019年9月9日	8,659	—	14,026	—	93.1	3.3
	9月末	9,458	9.2	14,893	6.2	90.6	3.3
	10月末	9,665	11.6	15,538	10.8	93.6	3.3
	11月末	9,835	13.6	15,772	12.5	94.2	3.5
	(期末)2019年12月9日	9,604	10.9	15,334	9.3	92.3	3.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2019. 6. 8 ~ 2019. 12. 9)

**■インド株式市況**

インド株式市況は小幅に上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首は横ばいで推移しましたが、その後は、さえない企業決算や経営陣による弱い業績見通しに加え、目立った景気刺激策がなく、海外投資家に対する追加課税の盛り込まれた政府予算案が悪材料視されたことから、軟調な展開となりました。2019年8月以降は、米中の対立や市場予想を下回る実質GDP（国内総生産）成長率の発表が懸念材料となった一方、新たな景気刺激策の発表や海外投資家に対する増税案の取り下げが好感され、一進一退の推移が続きました。9月半ばには、政府が法人税減税などの景気刺激策を発表すると大きく上昇し、その後も10月上旬からのフェスティバル・シーズンにおける堅調な個人消費への期待を背景に続伸しました。11月以降は、景気刺激策の発表が支援材料となったものの、大手格付会社による格付け見通しの引き下げや、さえない実質GDP成長率の発表などが重荷となり、横ばい圏で推移しました。

**■為替相場**

インド・ルピーは、円に対して下落（円高）しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、米中通商協議の進展期待によるリスク許容度の上昇などを背景に、対円で上昇して始まりしました。2019年8月には、米中对立への警戒感を受けた投資家のリスク回避姿勢やインド経済の減速懸念を背景に対円で大きく下落しましたが、その後は、インド政府による景気刺激策などを背景に対円でやや値を戻しました。10月以降は、大手格付会社による格付け見通しの引き下げなどが嫌気されたものの、円安米ドル高が進行したことにより、対円では横ばい圏で推移しました。

**前作成期末における「今後の運用方針」****■当ファンド**

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

**■ダイワ・インド株マザーファンド**

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ってまいります。セクターでは、保有資産の改善が期待できる金融セクター、中期的に所得水準の上昇による消費拡大が期待できる一般消費財・サービスセクター、設備投資回復の恩恵が見込まれる資本財・サービスセクターおよび米国への輸出拡大の恩恵を享受するセクターなどに注目しています。

## ポートフォリオについて

(2019. 6. 8 ~ 2019. 12. 9)

### ■当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

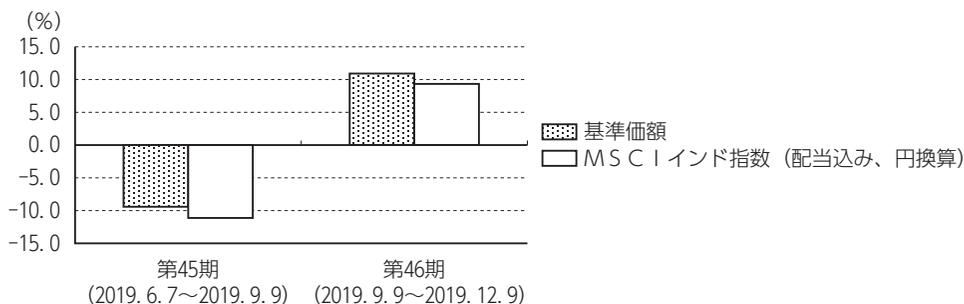
### ■ダイワ・インド株マザーファンド

高い利益成長が見込まれる銘柄に分散投資を行いました。業種では、保有資産の改善が見込まれた金融セクター、設備投資拡大の恩恵が見込まれた資本財・サービスセクターなどを組入上位としました。個別銘柄では、フェスティバル・シーズンにおける好調な販売が期待された二輪車メーカーなどを買付けました。一方、規制環境に対する懸念からタバコ会社などを売却しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して収益分配を見送らせていただきました。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第45期	第46期
	2019年6月8日 ～2019年9月9日	2019年9月10日 ～2019年12月9日
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)	—	—
対基準価額比率 (%)	—	—
当期の収益 (円)	—	—
当期の収益以外 (円)	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	2,971	2,985

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てしており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「ダイワ・インド株マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

### ダイワ・インド株マザーファンド

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ってまいります。セクターでは、相対的に株価バリュエーションが割安な金融セクターやコミュニケーション・サービスセクターなどに注目しています。個別銘柄では、財務内容が良好で相対的に高い利益成長が見込まれる企業への投資を継続する方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第45期～第46期 (2019. 6. 8～2019. 12. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	86円	0. 923%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 270円です。
(投 信 会 社)	(41)	(0. 440)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0. 440)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(4)	(0. 044)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	15	0. 164	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(15)	(0. 160)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 003)	
有 価 証 券 取 引 税	7	0. 072	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(7)	(0. 072)	
そ の 他 費 用	10	0. 103	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(9)	(0. 100)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	117	1. 261	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

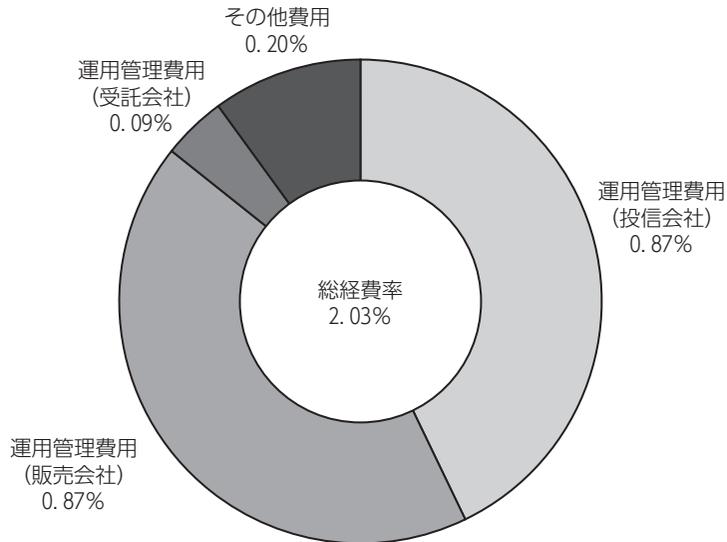
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ダイワ・インド株ファンド

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年6月8日から2019年12月9日まで)

決算期	第45期～第46期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株マザーファンド	117,672	206,000	140,092	255,000

(注) 単位未満は切捨て。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年6月8日から2019年12月9日まで)

項目	第45期～第46期
	ダイワ・インド株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	1,431,858千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	2,795,207千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.51

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種類	第44期末	第46期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・インド株マザーファンド	1,521,104	1,498,685	2,762,676

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項目	第46期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・インド株マザーファンド	2,762,676	97.9
コール・ローン等、その他	58,482	2.1
投資信託財産総額	2,821,158	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.60円、1インド・ルピー＝1.53円です。

(注3) ダイワ・インド株マザーファンドにおいて、第46期末における外貨建純資産(2,924,668千円)の投資信託財産総額(2,959,161千円)に対する比率は、98.8%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年9月9日)、(2019年12月9日)現在

項目	第45期末	第46期末
<b>(A) 資産</b>	<b>2,611,682,073円</b>	<b>2,821,158,717円</b>
コール・ローン等	40,772,481	45,482,648
ダイワ・インド株マザーファンド(評価額)	2,570,909,592	2,762,676,069
未収入金	—	13,000,000
<b>(B) 負債</b>	<b>15,429,449</b>	<b>31,000,289</b>
未払解約金	2,891,976	18,076,286
未払信託報酬	12,499,628	12,847,794
その他未払費用	37,845	76,209
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,596,252,624</b>	<b>2,790,158,428</b>
元本	2,998,261,206	2,905,164,024
次期繰越損益金	△ 402,008,582	△ 115,005,596
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,998,261,206口</b>	<b>2,905,164,024口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	<b>8,659円</b>	<b>9,604円</b>

\* 第44期末における元本額は2,920,543,347円、当作成期間(第45期～第46期)中における追加設定元本額は346,629,662円、同解約元本額は362,008,985円です。

\* 第46期末の計算口数当りの純資産額は9,604円です。

\* 第46期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は115,005,596円です。

■損益の状況

第45期 自 2019年 6月 8日 至 2019年 9月 9日

第46期 自 2019年 9月10日 至 2019年12月 9日

項 目	第45期	第46期
(A) 配当等収益	△ 5,826円	△ 3,417円
受取利息	67	218
支払利息	△ 5,893	△ 3,635
(B) 有価証券売買損益	△ 248,823,842	277,080,567
売買益	2,346,903	297,704,717
売買損	△ 251,170,745	△ 20,624,150
(C) 信託報酬等	△ 12,537,555	△ 12,886,163
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 261,367,223	264,190,987
(E) 前期繰越損益金	△ 36,796,662	△ 274,624,679
(F) 追加信託差損益金	△ 103,844,697	△ 104,571,904
(配当等相当額)	( 813,538,348)	( 792,050,296)
(売買損益相当額)	(△ 917,383,045)	(△ 896,622,200)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 402,008,582	△ 115,005,596
次期繰越損益金 (G)	△ 402,008,582	△ 115,005,596
追加信託差損益金	△ 103,844,697	△ 104,571,904
(配当等相当額)	( 813,538,348)	( 792,050,296)
(売買損益相当額)	(△ 917,383,045)	(△ 896,622,200)
分配準備積立金	77,374,941	75,430,204
繰越損益金	△ 375,538,826	△ 85,863,896

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第45期	第46期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,289,982円	4,163,798円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	813,538,348	792,050,296
(d) 分配準備積立金	75,084,959	71,266,406
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	890,913,289	867,480,500
(f) 分配金	0	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	890,913,289	867,480,500
(h) 受益権総口数	2,998,261,206口	2,905,164,024口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・インド株マザーファンド

## 運用報告書 第13期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月8日～2019年12月9日)

ダイワ・インド株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	インドまたはその他の国の金融商品取引所に上場（上場予定を含みます。）するインドの企業の株式およびDR（預託証券）
株式組入制限	無制限

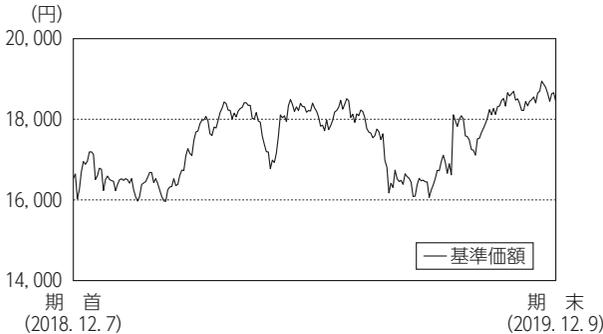
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,535円 期末：18,434円 騰落率：11.5%

【基準価額の主な変動要因】

インド株式に投資した結果、モディ首相の続投や政府が法人税減税などの景気刺激策を発表したことなどを背景に保有株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は上昇しました。

インド株式市況は、当作成期首より、米国における早期の利上げ打ち止め期待を受けた新興国からの資金流出懸念の後退やモディ首相の続投期待などを背景として、上昇しました。2019年3月以降は、下院総選挙における与党連合の過半数獲得を好感し、上昇しました。7月は、さえない企業決算や経営陣による弱い業績見通しに加え、目立った景気刺激策がなく、海外投資家に対する追加課税が盛り込まれた政府予算案が悪材料視されて、軟調な展開となりました。8月以降は、米中の対立や市場予想を下回る実質GDP（国内総生産）成長率の発表が懸念された一方、新たな景気刺激策の発表や海外投資家に対する増税案の取り下げが好感され、一進一退の推移が続きました。9月半ばには、政府が法人税減税などの景気刺激策を発表すると大きく上昇しました。11月以降は、景気刺激策の発表が支援材料となったものの、大手格付会社による格付け見通しの引き下げや、さえない実質GDP成長率の発表などが重荷となり、横ばい圏で推移しました。

○為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落（円高）しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、中央銀行の独立性をめぐる政府とRBI（インド準備銀行）の対立を受けたRBI総裁の辞任やモディ政権による大衆迎合的な政策に伴う財政支出拡大への警戒感などを背景に、対円で下落して始まりました。2019年2月以降は、米国の利上げ停止観測を受けて新興国からの資金流出懸念が後退する中、次期総選挙後のモディ首相の続投期待などを背景に、対円で上昇しました。5月以降は、世界的な景気減速懸念により投資家のリスク回避姿勢が強まったことや米国金利の低下を背景として円高米ドル安が進行したことにより、対円で下落しました。その後は、米中通商協議の進展期待などを背景に対円で対円の上昇する局面もあったものの、8月には、米中対立への警戒感を受けた投資家のリスク回避姿勢やインド経済の減速懸念を背景に、対円で大きく下落しました。10月以降は、大手格付会社による格付け見通しの引き下げなどが嫌気されたものの、円安米ドル高が進行したことにより、対円では横ばい圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ってまいります。セクターでは、住宅ローンの拡大などが期待できる金融セクターに注目しています。また、政府による農村部の経済活性化プログラムなどを背景に消費拡大が期待されることから、その恩恵を受けやすい消費財銘柄などに注目しています。

◆ポートフォリオについて

高い利益成長が見込まれる銘柄に分散投資を行いました。業種では、保有資産の改善が見込まれた金融セクター、設備投資拡大の恩恵が見込まれた資本財・サービスセクターなどを組入上位としました。個別銘柄では、フェスティバル・シーズンにおける好調な販売が期待された二輪車メーカーなどを買付けました。一方、規制環境に対する

年月日	基準価額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率
	円	騰落率 %	騰落率 (参考指数)	%	%	%
(期首) 2018年12月7日	16,535	—	14,410	—	93.9	3.0
12月末	16,758	1.3	14,583	1.2	95.4	3.1
2019年1月末	16,090	△ 2.7	14,004	△ 2.8	93.6	3.1
2月末	16,386	△ 0.9	14,519	0.8	94.1	3.1
3月末	17,973	8.7	15,711	9.0	95.7	3.2
4月末	17,956	8.6	15,867	10.1	93.5	3.4
5月末	18,309	10.7	15,724	9.1	94.5	3.4
6月末	18,217	10.2	15,523	7.7	95.2	3.4
7月末	17,495	5.8	14,752	2.4	93.4	3.3
8月末	16,490	△ 0.3	13,927	△ 3.4	94.2	3.4
9月末	18,087	9.4	14,786	2.6	91.5	3.3
10月末	18,514	12.0	15,427	7.1	94.5	3.3
11月末	18,871	14.1	15,659	8.7	95.1	3.5
(期末) 2019年12月9日	18,434	11.5	15,224	5.7	93.2	3.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) MSCIインド指数（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数（配当込み、インド・ルピーベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数（配当込み、インド・ルピーベース）は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

## ダイワ・インド株マザーファンド

懸念からタバコ会社などを売却しました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

### 《今後の運用方針》

企業の成長力などに着目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行ってまいります。セクターでは、相対的に株価バリュエーションが割安な金融セクターやコミュニケーション・サービスセクターなどに注目しています。個別銘柄では、財務内容が良好で相対的に高い利益成長が見込まれる企業への投資を継続する方針です。

## ■売買および取引の状況

### (1) 株 式

(2018年12月8日から2019年12月9日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 570 ( )	千アメリカ・ドル 602 ( )	百株 555	千アメリカ・ドル 681
	インド	百株 21,215.93 ( 1,465.54)	千インド・ルピー 891,816 ( 7,548)	百株 24,815.77	千インド・ルピー 1,258,547

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	66円 ( 65) ( 1)
有価証券取引税 (株式)	29 ( 29)
その他費用 (保管費用) (その他)	34 ( 32) ( 2)
合 計	129

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

## (2)先物取引の種類別取引状況

(2018年12月8日から2019年12月9日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	株式先物取引	百万円 1,203	百万円 1,198	百万円 —	百万円 —

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄 株 式

(2018年12月8日から2019年12月9日まで)

当 期				当 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
HDFC BANK LIMITED (インド)	千株 29.6	千円 98,694	円 3,334	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE (インド)	千株 53.4	千円 162,429	円 3,041
ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	57	65,670	1,152	RELIANCE INDUSTRIES LTD (インド)	67.6	146,181	2,162
STATE BANK OF INDIA (インド)	146.5	64,339	439	BRITANNIA INDUSTRIES LTD (インド)	16.8	81,385	4,844
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND (インド)	149.1	63,313	424	ICICI BANK LTD-SPON ADR (インド)	55.5	74,599	1,344
ULTRATECH CEMENT LTD (インド)	9.4	62,363	6,634	OIL & NATURAL GAS CORP LTD (インド)	270.7	72,266	266
OIL & NATURAL GAS CORP LTD (インド)	270.7	60,955	225	INFOSYS LTD (インド)	54.4	65,558	1,205
HCL TECHNOLOGIES LTD (インド)	29.7	53,045	1,786	GAIL INDIA LTD (インド)	119.466	61,050	511
BHARTI AIRTEL LTD (インド)	89	45,690	513	INDRAPRASTHA GAS LTD (インド)	128.3	57,941	451
LARSEN & TOUBRO LTD (インド)	21.5	44,898	2,088	CONTAINER CORP OF INDIA LTD (インド)	56.8	53,516	942
MARICO LTD (インド)	75.2	44,392	590	AXIS BANK LTD (インド)	43.5	51,096	1,174

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等		
			株数	株数		評価額	
						外貨建金額	邦貨換算金額
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
(アメリカ)							
ICICI BANK LTD-SPON ADR	1,138	1,153	1,694	184,067	金融		
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,138 1銘柄	1,153 1銘柄	1,694	184,067 <6.3%>		
	百株	百株	千インド・ルピー	千円			
(インド)							
CYIENT LTD	181	—	—	—	情報技術		
PERSISTENT SYSTEMS LTD	414.95	—	—	—	情報技術		
GUJARAT STATE PETRONET LTD	1,131	—	—	—	公益事業		
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND EQUITAS HOLDINGS LTD/INDIA	—	1,306	39,238	60,035	金融		
SRF LTD	894	—	—	—	金融		
JK CEMENT LTD	—	31	10,013	15,320	素材		
AVENUE SUPERMARTS LTD	—	233.85	26,769	40,958	素材		
INFO EDGE INDIA LTD	113	—	—	—	生活必需品		
ICICI LOMBARD GENERAL INSURA	168	—	—	—	コミュニケーション・サービス		
SBI LIFE INSURANCE CO LTD	224.46	—	—	—	金融		
HDFC LIFE INSURANCE CO LTD	300	273	26,322	40,273	金融		
AU SMALL FINANCE BANK LTD	307	—	—	—	金融		
BANDHAN BANK LTD	229	229	18,503	28,309	金融		
WHIRLPOOL OF INDIA LTD	322.63	—	—	—	金融		
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	183.63	—	—	—	一般消費財・サービス		
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	209.24	175.24	26,471	40,501	資本財・サービス		
SPENCER'S RETAIL LTD	188	85	27,049	41,386	金融		
KPIT TECHNOLOGIES LTD	76.8	—	—	—	生活必需品		
CHALET HOTELS LTD	—	1,057.39	9,410	14,398	情報技術		
SKF INDIA LTD	—	531.74	17,967	27,490	一般消費財・サービス		
DEEPAK NITRITE LTD	—	42.16	9,004	13,776	資本財・サービス		
CITY UNION BANK LTD	—	265	8,808	13,477	素材		
AXIS BANK LTD	—	639	14,796	22,637	金融		
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	1,305	1,053	75,563	115,611	金融		
COLGATE PALMOLIVE (INDIA)	110	79	54,404	83,239	一般消費財・サービス		
ACC LTD	291	196	29,019	44,400	生活必需品		
ASHOK LEYLAND LTD	110	—	—	—	素材		
ASIAN PAINTS LTD	—	1,456	11,138	17,041	資本財・サービス		
NESTLE INDIA LTD	286	240	41,199	63,035	素材		
HINDUSTAN UNILEVER LTD	16	—	—	—	生活必需品		
STATE BANK OF INDIA	—	146	29,580	45,257	生活必需品		
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	1,310	2,428	77,696	118,874	金融		
NCC LTD	—	760	14,181	21,697	公益事業		
CESC LTD	1,199	—	—	—	資本財・サービス		
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	128	—	—	—	公益事業		
BHARAT PETROLEUM CORP LTD	609.24	462.05	25,983	39,754	資本財・サービス		
NATIONAL ALUMINIUM CO LTD	—	420	20,517	31,391	エネルギー		
EXIDE INDUSTRIES LTD	1,835.19	1,067.19	4,615	7,061	素材		
MARICO LTD	558	—	—	—	一般消費財・サービス		
ULTRATECH CEMENT LTD	—	752	25,650	39,245	生活必需品		
	—	94	39,083	59,798	素材		

ダイワ・インド株マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	351	435	72,832	111,433	金融	
ADITYA BIRLA FASHION AND RET	787.09	—	—	—	一般消費財・サービス	
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	168	66	20,259	30,996	生活必需品	
CUMMINS INDIA LTD	236	236	12,288	18,801	資本財・サービス	
DIVI'S LABORATORIES LTD	209	174	31,038	47,489	ヘルスケア	
INDRAPRASTHA GAS LTD	1,283	—	—	—	公益事業	
LUPIN LTD	351	—	—	—	ヘルスケア	
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	—	735	9,764	14,939	一般消費財・サービス	
SHREE CEMENT LTD	8	16	32,487	49,705	素材	
TECH MAHINDRA LTD	—	284	21,513	32,914	情報技術	
THERMAX LTD	—	148.92	14,679	22,458	資本財・サービス	
AIA ENGINEERING LTD	—	34.77	5,733	8,772	資本財・サービス	
GODREJ PROPERTIES LTD	199	199	17,640	26,989	不動産	
TVS MOTOR CO LTD	—	187	8,305	12,707	一般消費財・サービス	
INDUSIND BANK LTD	111.4	—	—	—	金融	
MULTI COMMODITY EXCH INDIA	240	170	19,352	29,609	金融	
PRESTIGE ESTATES PROJECTS	—	366	11,926	18,246	不動産	
BAJAJ FINANCE LTD	78	41	16,201	24,788	金融	
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	688	688	22,566	34,526	金融	
MINDTREE LTD	252	—	—	—	情報技術	
GAIL INDIA LTD	1,194.66	—	—	—	公益事業	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	1,557	1,277	25,278	38,675	素材	
GRASIM INDUSTRIES LTD	187	—	—	—	素材	
INFOSYS LTD	2,175	1,631	116,632	178,448	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	543.9	616.9	79,629	121,833	資本財・サービス	
DR. REDDY'S LABORATORIES	—	34	9,828	15,037	ヘルスケア	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	534	48	10,870	16,631	金融	
HDFC BANK LIMITED	486	1,329	165,600	253,368	金融	
RELIANCE INDUSTRIES LTD	1,211	577	89,717	137,268	エネルギー	
ITC LTD	1,016	—	—	—	生活必需品	
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	189	—	—	—	一般消費財・サービス	
HERO MOTOCORP LTD	105.7	111.7	26,385	40,370	一般消費財・サービス	
BHARTI AIRTEL LTD	320	1,070.13	47,604	72,835	コミュニケーション・サービス	
ABB INDIA LTD	127	199.55	28,787	44,044	資本財・サービス	
AMBUJA CEMENTS LTD	—	700	14,063	21,516	素材	
DABUR INDIA LTD	—	216	10,018	15,327	生活必需品	
HCL TECHNOLOGIES LTD	—	594	33,281	50,921	情報技術	
INDIAN HOTELS CO LTD	2,097	1,064	15,784	24,150	一般消費財・サービス	
インド・ルピー通貨計	株数、金額	29,404.89	27,270.59	1,673,063	2,559,786	
	銘柄数<比率>	55銘柄	54銘柄		<86.9%>	
ファンド合計	株数、金額	30,542.89	28,423.59	—	2,743,853	
	銘柄数<比率>	56銘柄	55銘柄		<93.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
外国 SGX NIFTY 50 (シンガポール)	百万円 103	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	2,743,853	92.7
コール・ローン等、その他	215,307	7.3
投資信託財産総額	2,959,161	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=108.60円、1インド・ルピー=1.53円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,924,668千円)の投資信託財産総額(2,959,161千円)に対する比率は、98.8%です。

■損益の状況

当期 自 2018年12月8日 至 2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	32,163,579円
受取配当金	31,639,967
受取利息	76,219
その他収益金	471,054
支払利息	△ 23,661
(B) 有価証券売買損益	318,102,598
売買益	555,525,421
売買損	△ 237,422,823
(C) 先物取引等損益	5,995,154
取引益	19,661,378
取引損	△ 13,666,224
(D) その他費用	△ 5,883,610
(E) 当期損益金 (A + B + C + D)	350,377,721
(F) 前期繰越損益金	1,258,188,206
(G) 解約差損益金	△ 401,018,309
(H) 追加信託差損益金	139,477,454
(I) 合計 (E + F + G + H)	1,347,025,072
次期繰越損益金 (I)	1,347,025,072

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,959,161,507円
コール・ローン等	173,126,424
株式 (評価額)	2,743,853,762
差入委託証拠金	42,181,321
(B) 負債	14,924,413
未払金	1,924,392
未払解約金	13,000,000
その他未払費用	21
(C) 純資産総額 (A - B)	2,944,237,094
元本	1,597,212,022
次期繰越損益金	1,347,025,072
(D) 受益権総口数	1,597,212,022口
1万口当り基準価額 (C/D)	18,434円

\* 期首における元本額は1,925,205,701円、当作成期間中における追加設定元本額は191,522,546円、同解約元本額は519,516,225円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・インド株マザーファンド1,498,685,076円、ダイワ/フィデリティ・アジア3資産分散ファンド98,526,946円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,434円です。